

# 防災だより

その63

防災専門官 野田 秀敏

## 市民一斉避難訓練を実施しました

本市初となる市民一斉避難訓練を令和4年11月27日(日)に実施しました。今回は地震が発生した場合を想定した訓練でした。

当日は自治会をはじめ多くの関係者や市民が参加しました。

訓練の後、参加者の皆さんからアンケートを回収しましたので、その声を紹介します。

**開設避難所** 48箇所  
**参加人数** 2193世帯

3481人(女性1970人、男性1511人)※避難所受付人数

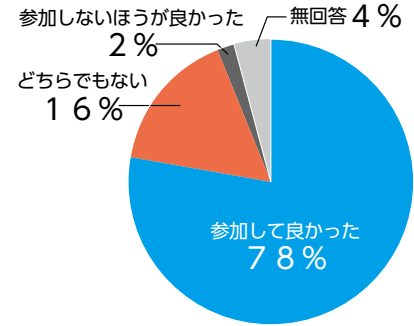
参加できない場合も、避難済を示すタオルを掲示している家もありました。



指揮にあたる楠田市長

### 参加者の声

今回の地震避難訓練に参加して良かったですか

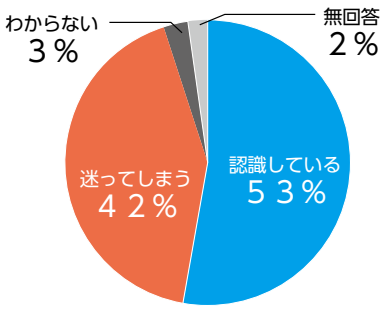


約8割の人が参加してよかったと回答しました。

2016年熊本地震では、「口頭やっっていないと何もできない」との体験談もあります。

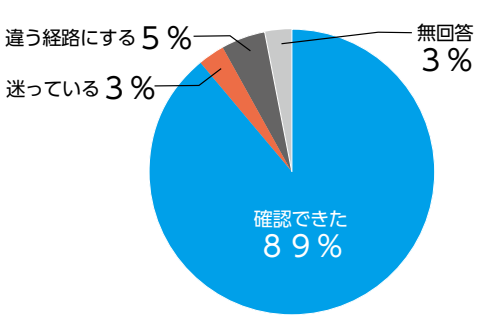
訓練に参加することで、避難行動を経験でき、突然発生する災害に備えることができます。

大きな揺れが突然きた時、どう行動するか認識していますか



約9割の人が今回の訓練で確認できたと回答しています。大きな地震では、山沿い・崖

今回の訓練で避難経路は確認できましたか



突然大きな揺れを感じたら姿勢を低くし両手またはクッションや本などで頭を守りその場にとどまるか、テーブルや机の下に入り揺れがおさまるまで待ちましょう。

自助(自分の身は自分で守ること)を認識している人は53%、迷ってしまう・わからない人が合わせて45%で、どのように行動してよいか分からないと回答しています。警固断層では直下型地震が想定され、地域の大半が、震度6強から震度6弱で揺れる可能性があります。緊急地震速報も間に合わない可能性があるため、注意が必要です。



避難所で訓練の説明を聞く様子

今回の訓練で一時避難(待機)場所を理解できましたか

理解できた	90%
わからない	6%
必要がない	1%
無回答	3%

これら2つに対して、8

沿いや住宅密集地、商店街や狭小路などで倒壊物により通行できなくなることもあります。避難経路は自宅から避難所まで2つか3つ、広い安全なコースを見つけておきましょう。

今回の訓練で避難済みを示す方法を確認できましたか

確認できた	83%
わからない	12%
必要ない	2%
無回答	3%



救護手当てを訓練する参加者



避難所へ向かう家族と誘導する自治会の人

割以上の人が確認できた、理解できたと回答しました。災害から被害を最小限にとどめるには、市民一人一人が、今後、起こりうる災害のリスクを認識する必要があります。また、自分の身は自分で守る「自助」、自治会や自主防災組織など地域で助け合う「共助」の知識を蓄え、災害発生時には、実践できるよう備えておくことが大切です。